

事務事業評価シート(平成24年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名			
54221	図書館管理運営事業	教育委員会	図書館	百瀬辰夫	吉澤志津江			
		一次評価年月日	平成 25 年 6 月 10 日	連絡先〔内線〕	2550			
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		予算コード	1052			
			事業名(歳出予算見積書)					
			#N/A					
	第五次総合計画前期基本計画の 施策体系における位置づけ		章	(コード選択)	5章	学びあいと育てあいのまちづくり		
			節	(コード選択)	4節	生涯学び続けられる環境の充実		
			項〔基本施策〕	(コード選択)	2項	社会教育活動の推進		
			目〔主な施策〕	(コード選択)	2目	図書館のサービス向上		
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/>	第五次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/>	3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/>	主要業務報告	<input type="checkbox"/>	その他
事務期間	(開始)	T10 年度 ~ (終了予定)	年度	<input type="checkbox"/>	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/>	終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(～に対して).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

住民、辰野町在勤在学者、図書館利用者

②目的(意図)(～という状態にするために).....この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

住民の皆さんが幸せで満ち足りた生活を過ごせるように手助けを行う

③手段(事業内容)(～を行う).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 1 地域の情報拠点として情報を蓄積保管する
- 2 読書施設として、静謐な環境を提供できるよう館整備を行う
- 3 貸出業務を正確に行うとともに、リクエスト、予約、レファレンスなどにも積極的に対応する
- 4 サービス充実のためにボランティア活動を拡充する

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		23年度	24年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)		
①	指標名	蔵書数		冊	63,016	67,643	64,000	1.06	64,000
	説明	所蔵する資料の数		目標値設定の根拠	施設のキャパシティによる				
②	指標名	リクエスト、予約数		件	1264	1,377	1,400	0.98	1,400
	説明	利用者から寄せられるリクエスト予約		目標値設定の根拠	実績より見込む				

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		23年度	24年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)		
①	指標名	利用者数		人	20,104	21,835	22,000	0.99	22,000
	説明	図書館利用利用者数		目標値設定の根拠	実績より見込む				
②	指標名	貸出冊数		冊	79,855	86,401	89,000	0.97	89,000
	説明	図書館資料貸出冊数		目標値設定の根拠	実績より見込む				

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+② (千円)	平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 決算	平成25年度 見込み										
	対前年比 (%)	/	77.9	139.3	99.1									
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)														
B) 一般財源(税金)	32,835	25,564	35,606	35,291										
①事業費 (千円)	18,782	11,543	20,926	20,101										
対前年比 (%)	/	61.5	181.3	96.1										
②人件費の概算 (千円)	14,053	14,021	14,680	15,190										
対前年比 (%)	/	99.8	104.7	103.5										
	課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費					
	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25					
町職員(正規職員)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.99	1.00	0.99	8,418	8,082	7,960	7,973	
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)						6.00	6.00	6.00	6.00	5,635	5,939	6,720	7,217

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	B	A すでに実施している B 今後は可能性がある → C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	A	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している → C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口**を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)
セカンドブック新規実施、開館日数増加などにより、着実に利用者・利用冊数が伸びてきています。今年度は、保育園で行う移動図書について、在園児対象に3月も貸出業務を行いました。ボランティア養成は、読み聞かせ基礎講座を28名が、装備講習を13名が受講し25年度から活動を始めます。また、屋上防水工事、1階トイレ改修工事、階段転落防止工事など、図書館内外の環境整備がすすんでいます。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	25年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
利用者の要望に応えられるように幅広い資料を収集します。継続して環境整備を行うとともに、引き続き図書館ボランティアの育成、資質向上を目指します。夏休みの小中学生のために、期間中休館日なし・開館時間30分前倒しテーマのサマーライブラリーを実施します。	〔反映内容〕 新規購読雑誌・新聞誌紙代計上、窓改修工事費、202号室エアコン取替工事費の計上、サマーライブラリー実施のための人件費の計上、閉架書庫用書棚購入費計上

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
地域の情報源として、引き続き、資料の充実と各種サービスの向上を図り、利用しやすい館内整備・施設の改善に努める。ボランティアの育成と資質の向上を図り、住民参加の下に、利用・活用の拡大を図る。書架の耐震対策の検討を進める。24年度に講師の都合で実施できなかった講演会が、大勢の参加で開催できるように進める。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 **口**を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

→ 上記 a~e を選択